

新宮山彦ぐるーぷ第1866回

## 南奥駆道(持経宿〜前鬼)間の春季連休前点検巡視

◇実施日：平成28年4月09日(土)〜10日(日) 曇り

◇参加者：沖崎吉信、豊嶋 寛、竹中佐一、塩川真武、

瀧本昭太郎、林 良子・大橋澄子(堺市) 7名。

車回送サポート 池原く持経宿；畑林秀味、

前鬼小仲坊く池原；川島 功、青木宏充。

### 点検巡視・整備結果

倒木処理；チェーンソーで2箇所2本処理、鋸処理8本。

石柱道標；倒伏異常なし。1本ややぐらつく石柱道標があり、

石を詰め固定。



ぐらついた石柱道標固定復元

チェーンソーで倒木処理

4月09日(土) 薄曇時々晴

行仙宿登山口でM機の操作研修を受講し、14時過ぎ新宮組(沖崎、豊嶋、竹中、畑林)は、あわただしく後にする。

15時の池原集合時間に瀧本組3名・塩川君が合流し、簡単な自己紹介と今日、明日の予定を説明し沖崎車1台で出発する。

この日の池郷林道は、ゲート迄の舗装部分にも落石が多く慎重にゆっくり進み、16時前に持経宿に到着する。

瀧本、塩川、林、大橋の4人が水場へ。沖崎、豊嶋、竹中の3名が小屋内の整備と準備を行い、17時頃から夕食になった。

各自持参の食材を広げる。豊嶋さんからは豆腐が出て来て湯豆腐メインの宴会となった。今回始めて南奥駆を歩く瀧本グループの林、大橋のお二人は、年間100回近い山行を重ねており、山岳マラソンにも挑戦されているとのこと。

話は尽きないが、明日早朝スタートもあって、20時すぎには、就寝となった。



池原公園で合流



水汲み時軽トラに便乗



夕食懇親会

4月10日(日) 曇り

5時に起床し、食事・準備・小屋内を片付けて6時12分に持経宿を後にした。

太古ノ辻に到着したのが、14時前で、この間約8時間を要した。全員が久々と始めてのコースである。

新芽の時期には早いですが、コブシ(タムシバ)の白がすばらしく、バイケイソウも顔を出し、アップダウンのきびしさの中も本当にいいコースである。

昨年8本の倒伏や傾いた石柱道標の修復を行ったが、冬の間の

雪や霜柱で、雨で倒れたり傾いたりしていか心配したが、前述の通り異常はなかった外、倒木等も予想よりはるかに少ないものであった。



外れた標識取付け

滝川辻の倒伏した木製標識復元作業と復元後

今回は巡視点検以外にもう一つ靡の位置確認もテーマとして臨んだ。江戸時代末期に75靡となったが、以後修験道禁止令などで長く閉ざされていたことで不明や解釈違いがある様だ。

判る範囲で靡表示(標識看板)をやりたいと思っているが、これがかかなか難しい。森沢義信著「大峯奥駈道75靡」のみが頼みであるが、

- ・おそらく此処であろう。

- ・聖護院は、この岩峰も靡としている。醍醐・三宝院(当山派)は、此処を靡としていない。

- ・菊の窟・千草岳は所在不明。

などなど森沢さんも相当ご苦労されたことだろう。

持経宿く太古ノ辻間でも剣光門と乾光門どっち、蘇莫岳のピークはどっちなど簡単な事ではない。じっくり腰を据え、森沢さんのアドバイスも頂きながら慎重に運びたいと思っている。

午後15時40分に無事前鬼小仲坊に着いた。

持経宿迄送って頂いた畑林君、前鬼小仲坊に出向き池原迄送って頂いた川島代表、前日から単身で深仙宿泊し笹刈り等を実施さ

れた青木君の御三方に厚く御礼申し上げます。尚、山彦ぐるーぷの行事で小仲坊迄車を乗入れる際は、小仲坊当主の五鬼助さんに事前連絡すると、林道ゲートの鍵が開けてもらえます。



小仲坊に無事到着！



水量の多い不動七重滝

### 行動タイム

持経宿 6:12 → 6:42 阿須迦利岳 → 7:20 証誠無漏岳 → 8:20 涅槃岳 → 8:50 剣光門 → 9:25 滝川辻 → 9:55 般若岳 → (倒木処理) → 10:50 地藏岳 → 11:40 嫁越峠 → 12:10 奥守岳 → 12:35 天狗山 → 13:50 太古ノ辻 → 15:40 前鬼小仲坊 16:10 → → 1640 池原(解散)。

(記 沖崎、写真:塩川)